

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 2 月 27 日

【事業所概要 (事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------|-----------|------------|
| 事業所番号 | 4291600033 | | |
| 法人名 | 有限会社UTASI | | |
| 事業所名 | グループホーム九十九の里 | | |
| 所在地 | 佐世保市鹿町町下歌ヶ浦802-8 | | |
| 自己評価作成日 | 平成23年12月15日 | 評価結果市町受理日 | 平成24年3月12日 |

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|--------------|--|
| 基本情報リンク先 URL | |
|--------------|--|

【評価機関概要 (評価機関記入)】

| | |
|-------|---|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構 |
| 所在地 | 〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所 1階 |
| 訪問調査日 | 平成 24 年 2 月 21 日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

「安心して暮らすということ」「自分らしく生きるということ」を理念に、スタッフが利用者の立場に立ち日々考えながら、安心して生活ができるよう家族、地域の方々と協力しながら利用者を支えている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

【認知症状ではないか】【何をしたらいいのかわからない】【独居】に対する利用者や家族等の不安を取り除く手伝いがしたい職員や事業所の気持ちが、理念の1つである『安心して暮らすこと』の言葉に集約されている。利用者のこれまでの生活を基準に、事業所での生活環境をこれまでの延長線上になるよう心がけられており、特に居室は本人が安心して寛げる場所となるような設定である。又、食事を作る時のエプロンと介護時のエプロンの使い分けや利用者が迷いそうな場所には誘導表示がされており、利用者が自分の意思で行動できるようなさりげない気配りや見守りが感じられる家庭的な事業所である。又、待機職員の確保もされており職員にとっても安心して働ける職場である。

1 自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 理念の様に安心して暮らして頂けるように個々の望みにかなった生活が出来る様に心がけている。 | 利用者のこれまでの生活の延長線上の支援とコミュニケーションを通じた支援の中に、利用者の迷いや不安を軽減させることを意識したサービスの提供で「安心」に繋がれている。 | |
| 2 | 2 | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、日常散歩中等近所の方と会話したり出来るだけ行事に参加し交流している | 地区会に入会されており、班長の免除はあるものの経営者は役員を担われたり、実行委員として地域行事に参画されている。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域清掃は、毎回利用者と職員がでて草払いや公民館掃除に参加しているが特に認知症の理解や、支援の方法を地域の人々に向けて活してはいない。 | / | / |
| 4 | 3 | 運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議では、行事報告と予定利用者の状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見又、地域や行政の情報をもらっている。 | 行政の実施指導を受けられ、今までの行事報告等中心の運営推進会議を、更に建設的有効活用場として位置づけられている。また、その都度に課題を提案し双方向の意見交換の場に変換されている。現在、徘徊ネットワーク作りにも着手されている。 | |
| 5 | 4 | 市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 行政とは、密に連絡取れてないが包括支援センターとは情報交換が出来ている。 | 市町合併で、担当者との距離ができ、その分、地域包括センターや社会福祉協議会との距離は縮まり、包括会議に出席することで地域の民生委員や福祉関係事業所等との情報交換や連携・協力体制作りに反映されている。 | |

| | | | | | |
|----|---|---|--|---|--|
| 6 | 5 | <p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>夜間玄関の施錠をする以外身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>テーマを設けた強化月間の取り組みをされており、「身体拘束を考える」月間では、日常の業務の振り返りや意識付けの機会となっている。身体拘束は対応拘束であると理解されている。</p> | |
| 7 | | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>研修に参加し、学ぶ機会を持ち事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | | |
| 8 | | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | <p>研修に参加したが現在成年後見制度を必要とする方がおられない。</p> | | |
| 9 | | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>契約の時、解約の時又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明をし納得し利用頂いている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>玄関に意見箱を置き家族等が意見、要望を管理者や職員へ表せる機会を設けたり、重要説明書で苦情相談連絡先を記載している。また面会時家族さんと密に会話をし意見をきいている。</p> | <p>冬場の夜間時のトイレまでの移動は、利用者にとって億劫になりがちであり失禁にもつながる事から、利用者や家族からの要望を受け期間限定でポータブルトイレを設置されている。</p> | |
| 11 | 7 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>ケース会議時や昼休み時間を利用しての雑談を交えながら意見交換をしている。</p> | <p>会議等への経営者の参加の頻度も多く、オープンな環境と話しやすい雰囲気作りに努められている。又、取り上げてどうこうというより何気ない日頃のコミュニケーションを通じた気づきが自然な形で業務に反映されていることが多い。</p> | |

| | | | | |
|--------------------------|--|---|--|--|
| 12 | <p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>職員の努力や勤務状況を把握し、労働時間、各自働きやすい職場環境作りに努めている</p> | | |
| 13 | <p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>管理者や職員が、希望する研修があれば法人内外の研修を受けている。又必要と思われる講習も参加を進めている。</p> | | |
| 14 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p> | <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会としてGH協議会に加入し勉強会を通して、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p> | | |
| <p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> | | | | |
| 15 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>サービスの利用を開始する前の段階で、情報収集を行い本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人が安心してホーム生活に入って行けるよう関係づくりに努めている</p> | | |
| 16 | <p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>契約前に家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p> | | |
| 17 | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>サービスの利用を開始する前本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も紹介を含めた対応に努めている。</p> | | |

| | | | | | |
|--------------------------|---|---|--|---|--|
| 18 | | <p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>手作業や家事手伝い、散歩等その人の希望を聞きながら望む生活のケアを行っている。</p> | | |
| 19 | | <p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>家族に、現状報告、連絡等を密に取り共に本人を支えていく関係を築いている。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>本人がこれまで大切にしてきた物や知人との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>三味線などの趣味や特技を通して、新たな人脈作りや継続の支援もされており、その延長線上の会食の機会作りなど、社会性にも反映した支援である。</p> | |
| 21 | | <p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p> | <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立しないように利用者同士の組み合わせを考えて関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p> | | |
| 22 | | <p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p> | <p>利用契約が終了しても、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p> | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p> | <p>生活の中での会話から希望、意向の把握に努めながら望む生活が送れるように努めている。</p> | <p>プランの見直し・書き換え前に、変化の見られる部分について再アセスメントを取られている。又、重要点については赤字記載でポイント把握がしやすい仕組みになっている。更に、生活の流れに沿って利用者の支援内容別に区分けし、注意点を記載されている。</p> | |

| | | | | | |
|----|----|--|---|--|--|
| 24 | | <p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>本人、家族、これまでのサービス利用の機関などの情報にて経過等の把握に努めている</p> | | |
| 25 | | <p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p> | <p>一人ひとりの一日の中で出来ることを見つけだし役割のある生活や自分ペースでの過ごし方、有する力等の現状の把握に努めている</p> | | |
| 26 | 10 | <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>ケア見直し等担当者会議を行っている。</p> | <p>担当者会議には利用者に関係する職員等が参加し、利用者の現状や習慣、キーワードなど把握された中でプランを検討されている。現状のケース記録は実践記録に留まっているので、今後は利用者の様子やケアの実践結果、職員の対応など次の計画に反映される記録の必要性を理解・検討されている。</p> | |
| 27 | | <p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>ケース記録や業務日誌等で情報を共有しながら必要なケアがあればプランへ追加している。</p> | | |
| 28 | | <p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>本人の状況に合わせ本人、家族にとってよりよいサービスを受けられる他の施設へのアドバイス等を行っている</p> | | |
| 29 | | <p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>地区の方や民生委員の方から声かけはあるが利用者が出たがられない。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、入所前のかかりつけ医と関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>利用者一人ひとりのこれまでのかかりつけ医の継続受診支援をされており、定期受診日の受診待ち時間の短縮にも、職員が善意で番号札とりなど影の協力支援をされている。協力医以外にも、夜間時の緊急医療機関の確保はされている。</p> | |

| | | | | | |
|----|----|---|---|--|--|
| 31 | | <p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>介護員は職場内の看護師やかかりつけ医の看護師さんや薬剤師の方と相談している。</p> | | |
| 32 | | <p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>利用者が入院した際情報提供をだして、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院しスムーズに元の生活に戻れる様に、病院関係者との情報交換や相談に努めている。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>契約時終末介護の事を説明又、重度化した場合の事を説明し必要時希望される他施設へ入所のサポートする事を伝えている。</p> | <p>事業所の能力や関連施設等との連携体制など契約時に説明されている。又、その都度に話し合いの機会を設けて、利用者や家族等の希望に沿った対応・支援の意向を持たれている。</p> | |
| 34 | | <p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>緊急マニュアルを備え手順もスタッフがいつでも見える所に貼っている</p> | | |
| 35 | 13 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>月1回ホーム内防災訓練を行い年2回消防署から来てもらい推進委員さんと共に訓練や指導を受けている</p> | <p>備蓄や持ち出し品など想定内についての自主防災の意識は持たれている。又、被災後の復興へ向けた初期対応についての必要性は理解されている。</p> | <p>更に、想定外についても確かな情報収集や連携体制など復興支援も考慮した手順の取り決めなど体制強化の取り組みに期待したい。</p> |

| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
|-----------------------|----|---|--|--|--|
| 36 | 14 | 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 日々の慣れがあり声かけが馴れ馴れしくなっている | 平成23年度の目標達成計画に6ヶ月の期間を設定されたが見直しの結果、今しばらく継続して取り組みされる。 | 更に、事業所で取り組みされている強化月間に取り入れられ、業務の振り返りと共に家族等への満足度調査など第三者の視点の把握も参考にした取り組みに期待したい。 |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日常生活の中で利用者は希望や意見を言われている | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 声掛けを行いながらその人に合った手伝い等してもらっているが時折スタッフペースで行っていることもある。又自室へ戻ったりTVを見たり自由にされてもいる。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 希望がある時は、美容室に連れて行ったりホームで散髪をしたりしている。 | | |
| 40 | 15 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 一人ひとりの力を活かしながら、食事の下ごしらえを利用者と職員が一緒にしたり片付けを手伝ってもらったりしている。 | 利用者に合わせた食事形態と自助具を取り入れた自立摂取の支援をされており、自分のペースで食事を堪能されている。食後に職員と一緒に団欒されている様子は家庭的で和やかな雰囲気である。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | その人にあった量や形態に気を配っている。水分補給も好みの物を工夫して飲んでもらっている。 | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後口腔ケアのこえかけを行っている。 | | |
| 43 | 16 | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 夜は紙パンツ使用されている方も日中は布パンツに交換しているかたもいる。又紙パンツの方も声かけをしてトイレ誘導をしている。 | オムツは交換行為であることを理解されている。冬季限定の居室へのポータブルトイレ設置で利用者の排泄行為の自立支援と失禁の軽減につながっている。 | |

| | | | | | |
|----|----|---|---|---|--|
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 便の確認をしながら下剤の調整を行ったり水分量に気を配っている。 | | |
| 45 | 17 | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている | 曜日や時間帯は決めているが温泉を週1回取り入れて本人の湯かげんで楽しんで個々に応じた入浴をしてもらっている | 週に2回、平戸から温泉水を搬入し、更にジェットバスの導入で、利用者の入浴の楽しみが倍増している。利用者の好みに応じた水流で凝りや血行促進、便秘解消にもなっている。 | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | お昼寝や就寝は自由に行ってもらっている。 | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 受診時通院記録やケース記録、業務日誌に特記等記載し確認に努めている。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 趣味や生活歴を等してのレクをしたり家族からの希望の嗜好品で気分転換をしてもらっている。 | | |

| | | | | | |
|----|----|--|---|---|--|
| 49 | 18 | <p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p> | <p>買い物、散歩、ドライブ 家族と外食などしている。</p> | <p>通院のついでに買い物やパーマをかけに行かれたりしている。</p> | |
| 50 | | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>希望者は自分でお金を持って買い物や鍼灸、あんま等行かれる。文化祭の時はなるべく自分で好きな物を買って支払い出来る様支援している。</p> | | |
| 51 | | <p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>家族、知人よりの電話は会話されるが贈り物されても手紙は書かれない。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>季節の花をテーブルに飾ったりしている</p> | <p>会社の社員寮を改装した事業所なので共用空間の環境は家庭的である。又、空気のよどみもなく換気にも配慮されており全体的に極端な温度差がないように、利用者の滞在に合わせた配慮がなされている。</p> | |
| 53 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>居間ソファの座る位置は自分たちで決め座られ手いる。</p> | | |

| | | | | | |
|----|----|--|---|--|--|
| 54 | 20 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 昔ながらのタンスや仏壇、鏡をおき安心されている。 | 利用者の家庭での生活環境の延長線上の居室作りを目指されており、清潔保持に努めながら利用者が寛ぎやすい配置や環境づくりを心がけられている。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 1つだけでもタオル1枚だけでも何かの手伝いを行ってもらいできることを活かしてできるだけ自立した生活が送れるようにしている。 | | |

アウトカム項目

| | | | |
|----|---|--|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25) | | 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38) | | 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37) | | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31) | | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28) | | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19) | | 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない |

| | | |
|----|--|--|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19) | 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12) | 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない |